

山を歩く

「三関三渡」とは、羽黒山（414 m）、月山（1,984 m）、および湯殿山（1,500 m）への巡礼のことです。これら3つの山は、合わせて「出羽三山」と呼ばれます。通常2日をかけるこの旅は、修験道の信者にとって、再生の過程を象徴するものです。修験道とは、山で修行に努める古くからの伝統であり、仏教と神道両方の要素を含んでいます。

出羽三山の標高は比較的低いものの、山歩きは困難を伴います。あらゆる登山と同じく、この巡礼には計画と準備が必要です。

羽黒山の頂上には、年中、車でたどり着けます。出羽三山すべてに登ることができるのは、7月から9月中旬までに限られます。それ以外の期間は、厳しい気象条件のため不可能です。

月山の気候は特に変わりやすいものです。月山の険しい西側は日本海の方を向いており、しばしば強い風に襲われます。東側の斜面は深い積雪に覆われ、月山の一部は真夏まで雪に覆われています。これらの厳しい条件のため、登山については慎重に計画することが必要になります。月山ビジターセンターは、登山道の様々な地点にあるカメラからのライブ映像を流しています。こうした画像を確認することで、山を歩く人は、出発前に気象状況を観察して、適切に準備することができます。

風と寒さから身を守るために、暖かくてすぐに乾く衣服や、防水の上着などを重ね着して、登山靴を履きましょう。また、登山には、完全に充電した電話と、十分な食料・飲料も携帯しましょう。

山でのキャンプは禁止されていますが、途中には宿泊施設が豊富にあります。人気のある選択肢は、簡素な宿泊施設の「宿坊」です。巡礼者たちは、何百年も宿坊に泊ってきました。

登山者は、この地域のツキノワグマに出くわさないよう注意すべきです。クマ除けの鈴を携帯しておく、クマに人間の存在を警告でき、普通はクマを避けられます。予想外にクマに出くわしてしまった場合、クマを驚かさないようにします。走ったり、叫んだり、近づいたり、写真を撮ったりしてはいけません。クマには背を向けず、慎重に遠ざかります。